

令和3年度 居宅介護支援事業者部会事業計画（案）

① 定例会（全体研修会）と地区（ブロック）研修会の開催（年3回 予定）

感染症の状況と各会員事業所への研修会等開催方法についてのアンケートの結果及び大会場の確保が困難な関係で、今年度は大規模な研修会は行わず、協議会ホームページでの動画研修もしくは各地区（ブロック）での小規模に共通テーマで開催する計画とします。

（目的）会員事業所に従事する管理者及び介護支援専門員のスキルアップ

（内容）介護支援専門員に必要な情報の提供・研修会や事例検討・意見交換等

※事例検討会は、状況により開催できないことがあります。

（計画）・ 6月～7月 「令和3年度報酬改定について（案）」

・ 9月～10月 講演

・ 1月頃 講演

② 新人研修会の開催

（目的）会員事業所に従事する新人介護支援専門員のスキルアップ

（内容）ケアマネジメントの基本研修等

（計画）10月「ケアマネジメントの基本（案）」講演

③ 地域包括ケアシステムの深化をめざした連携強化

様々な団体等と意見交換・交流が出来る機会を確保し、連携強化を図り、八尾市の地域力向上（介護支援専門員の質の向上）を目的とします。

（内容）・地域包括支援センター、施設サービス事業者部会及び居宅サービス事業者部会、地域密着サービス等の事業所や地域の他職種、各種団体・機関、保険者及び行政機関等との合同研修会企画等

・制度・施策に関する事業や研修活動及び調査研究活動等への参加・協力

・円滑な介護保険制度の遂行に向け、保険者及び行政機関等との協力

・活動結果を元にサービスの提供及び制度・施策に反映できるような提言や助言等を行政機関等に行う

・必要に応じて行政機関、各機関、団体等の協力を得てツール等を作成

令和3年度 居宅サービス事業者部会事業計画（案）

① 各部会（グループ）単位の研修会の継続等

○訪問介護グループ

全体の研修会 年2回（10月・1月を予定）

サービス提供に関する知識・技術の質の向上に向けて、興味・関心を持てる研修を企画していく。

（内容）●薬について ・高齢者がよく服用している薬について
・市販薬やサプリメントを好む高齢者の対応 等

●認知症に関すること

○訪問看護グループ

昨年度、大阪府ステーション協会教育ステーション事業、八尾看看連携事業との合同研修会が新型コロナウイルス感染症蔓延予防のため集合研修及び会議が中止となった。よって、次年度も同様の対応が必要と思われる。

（内容）●災害、感染予防研修

教育ステーションの計画が出てからの参加となるが基本オンライン研修の予定。

●虐待防止研修

オンライン研修が可能か、講師と相談できれば年度中に実施。

●介護報酬改正勉強会・訪問看護ステーション相互の相談会

オンライン会議で企画し、今後定例化していく。

○通所グループ

感染対策として、今後の連絡手段を紙媒体から電子メールに移行する予定。そのため各事業所のE-mailアドレスを聞き取りし、冊子にまとめていく。

（内容）●オンライン事業所見学会の実施（12月頃予定）

他の事業所を知り、情報交換と施設間の交流を行う。

●オンライン研修会（意見交換会）の実施

新型コロナウイルスにおける取り組み。 等

○福祉用具・住宅改修グループ

- ・定例研修会において、サービス提供等における技術向上を目的とした研修会の開催。
- ・福祉用具、住宅改修の展示相談会の継続。

② 他の部会（居宅介護支援事業者部会・施設サービス部会）や、他のグループ等との合同勉強会・交流会・情報交換等

○福祉用具・住宅改修グループ

- ・互いのグループのサービスの質の向上のための実践的な研修会、勉強会の開催。
- ・適切なサービス提供に向けた交流会や情報交換会、また意見交換会の開催。

③ 行政（高齢介護課・地域包括支援センター等）との意見交換会

○福祉用具・住宅改修グループ

- ・実務面での問題点や制度の変更等に伴う福祉用具、住宅改修の利用及び現状に関する意見交換及び改善案の検討と提言。
- ・適正化を目的とした実地指導における研修会、勉強会の継続。

令和3年度 施設サービス事業者部会事業計画（案）

① 部会全体会

定期的に部会全体会を開催し、部会運営方針や活動内容を定期的に見直しするとともに、以下の事項について検討する。

- (1) 各課題の検討
- (2) 連絡調整

② 研修事業

施設全体としての質の向上に向けて、下記に記すような様々な研修を企画し、多くの会員に対して学習の場の提供を積極的に行う。

- (1) リスクに対する研修
 - ・コンプライアンス（法令遵守）及び身体拘束防止研修
 - ・感染症に関する研修（新型コロナウイルスに関する研修）
- (2) サービス向上に対する研修
 - ・サービスマナー（指導者および新人研修）
 - ・認知症研修
- (3) 介護技術に対する研修
 - ・褥瘡予防対策

③ 交流会事業

施設間交流の機会が少ない中、交流会を企画することによりお互いの理解を深める機会をつくる。

- (1) 職種別交流会（介護士・看護師・栄養士等）
- (2) テーマ別交流会（看取りについて等）
- (3) 他の部会との交流（居宅介護支援事業者部会及び居宅サービス部会）
- (4) 事業所ごとの研究発表会

④ グループホーム分科会活動

グループホームに特質した活動内容等を検討するとともに、課題整理や各種研修会の企画等、以下の事項について検討する。

- (1) グループホームにおける課題の検討
- (2) 連絡調整
- (3) 研修事業
- (4) 交流会事業